

【文系/指定校推薦・AO】

【文系/AO】

	1年次	2年次	3年次	1年次	2年次	3年次
進路志望	文系 志望校 不明	文系 志望校 不明	文系 志望校 あり	理系 志望校 不明	文系 志望校 あり	文系 志望校 あり
模擬試験	あり	あり	あり	あり	あり	あり
学校補講	あり	あり	あり	あり	あり	あり
進路指導室利用	なし	なし	あり	なし	なし	なし
塾利用	なし	なし	なし	なし	なし	家庭教師(英語)
オープンキャンパス	2回	2回	3回	2回	2回	1回
オーキャン個別相談	なし	なし	あり	なし	なし	あり
履修登録時、 気にかけたこと	文系であったが志望大学・受験方法は決めていなかった。もし経営学科に決めた場合、数Bなどが必要なので数Ⅱを登録。(1年次5月ではそんなものだろう)	一般受験を考えて、文系でも選択科目は幅広くした(国・英は演習あると良い)困難を極めた数学は2年次で終了、文系一本に。	得意科目は評定にも有効だし、息抜き教科になるので残した。書道は3年間オール5だった。	北高説明会で、先生方から進みたい進路があるなら、苦手教科を進んでしっかり学ぼうという話があった。そこで苦手な理数系も選択した。	初めは1年次と変わらない内容で登録し、2学期頃から進路の方向が変わり文系を目指す事に。	1・2年次の苦手な理数系の成績がここに来てかなり足を引っ張った。一般受験に必要な日本史が、後期しか受講出来ていなかったの、その時は自主勉と塾で行こうと決めた。
受験対策	夏期補講 (国 英)	夏期補講 (国 英)	夏期補講(日本史 英)7月～AO対策(担任)文化祭が終わるまで部活。	どの進路に進んでも困らないように、学校の定期テストに取り組む。(あまりやる気はなし)	1年次と同じ	定期テストに加えて、一般受験の時は英語外部試験スコア利用を考えていたので、英検対策をした。
受験方法の 決め方 (なぜ一般にした のか等)	1～2年次の途中まで受験について深く考えていなかった。部活も楽しみつつ評価はそこそこあり悪くなかったの、本人が目覚めるまで親は放っていた。一般受験の難しさは外部模試で本人も気付いていたし、指定校推薦にも自信が無かったが、学校の受験説明会などで色々知るうち可能性が見えてきた。第一志望(R大、文学部)には評定が足りず競争心に負け、AO受験不合格後、T大学出願。その2日後第1回指定校推薦会議後に前から気になっていたS大学の枠が余っていると知り、T大学受験を諦めS大学に指定校受験となった。			最終的には一般受験、その前にAO・公募入試があったのでそこにかけよう、という話にまとまった。本人は国語が比較的得意科目だったので、小論文なら頑張れる、という気持ちでいるのも大きかった。		
合格への勉強法	3校共に調査書あり。 R大学AO(プレゼン形式 面接なし) →歴史についてのプレゼン対策は幼少時から歴史書が好きでよく読んでいたがAOにすると決めてから5冊ほど歴史専門書を購入し、担任とプレゼン対策。 T大学AO(筆記試験 面接) →R大学不合格からすぐの出願でほぼ賭けだった。 S大学指定校(面接) →AO対策で担任と小論文と面接対策に力を入れていたので、ほぼ仕上がっていた。			3年次に志望校で行われたAOフォーラムというAO向けのオーキャンの影響が大きかった。AO合格した1年生の体験談で「とにかく時事ニュースを見て意見を親に話まくっていた。親は家事をして後ろを向いていたので、聞いているかわからなかったけど、とにかく話した」講師から「まだ高校生くらい、社会への関心や考え方は、まだまだ理解出来ない事もある。自分の意見を人前で話すという時に、その前段階は学校の先生との面談よりも親が聞く事の方が、より一般的な綺麗な受け答えより自分の意見が出しやすい。ぜひお子さんの意見を遮ることなく最後まで何回も聞いて下さい」という話だった。色々なニュースを見てとにかく話を聞き、話し合う時間を持った。あとは、担任の先生と小論文対策、10月の英検2級合格を目指し勉強していた。		